

人と自然と文化にやさしい地域づくり

山口県教育

Education of the Yamaguchi prefecture

人間性豊かに生きる —「豊かな人間性」へ高める—

令和6年 No.1346

5



令和5年度 第76回山口県学校美術展 推奨作品
 『東荷小の春』
 光市立東荷小学校 5年(受賞時) 水野 結菜

■いきいきPTA

下松市立末武中学校	PTA会長	逸見 勇介
下関市立玄洋中学校	前PTA会長	植田 和公
柳井市立新庄小学校	教諭	米満 奈菜
山陽小野田市立赤崎小学校	教諭	楠本 頌
防府市立桑山中学校	教諭	友永 健斗
宇部市立西岐波中学校	教諭	大田 菜摘

■わたしの学級経営

■教育会館施設紹介

■第2回授業力アップセミナー参加者募集

■地域の伝統文化を受け継ぎつなぐ

下関市立西市小学校 校長 静間 佳代

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykyoikuk.or.jp> E-mail ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp

明治36年4月第1号 4月及び奇数月1日発行 発行人 会長：倉増誠彦／編集長：重枝謙二



あなたのアクションは…

山口県教育会がすすめる
 「元気やまぐち」三つのアクション

- ◎あいさつ 返事で 明るいやまぐち
- ◎笑顔でつなぐ 安心やまぐち
- ◎ゴミ 落書きのない美しいやまぐち

学校を中心として地域ともつながるPTA活動



下松市立末武中学校

PTA会長 逸見 勇介

末武中学校PTAは令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。これは、諸先輩方が積み上げてこられた活動と実績のみならず、地域の皆様にご支援頂きながら継続的に活動を続けてきた賜物であると感謝申し上げます。



下松市長表敬訪問

学校紹介

末武中学校は花岡小学校、公集小学校、中村小学校の3小学校を卒業した生徒が通学しており、全校生徒数が900人を超える、山口県内最大の中学校です。各学年から募集した20名程度のPTA役員を四つの専門部に分けて、活動しています。また、子どもが卒業した後も、今度は地域枠のサポーターとして学校行事に協力してくださる方もたくさんおられます。

末武中学校PTAの取組

末武中学校は大規模校であるうえに、グラウンドが狭く、運動会の開催についても運営の工夫や事前の準備が必要となります。運動会当日にはPTA役員が交通立哨、駐車場係などを分担し、先生方と協力して円滑な運動会の運営を行っています。

コミュニティ・スクール(以下CS)との連携に関しては、学校運営協議会の下に設置される「CS推進委員会」の三つの部会にPTA役員もそれぞれ参加し生徒会や地域の方と一緒に活動内容を協議しています。例えば、挨拶運動では年2回三つの小学校に生徒会執行部の生徒や地域の方と一緒に参加しています。また、1、3年生の道徳の授業で、生徒とともに学びを深める「地域道徳」という取組にも地域の方々とともに参加しています。そして昨年度は、本校及び3小学校のPTA役員、教職員、生徒、地域の方による熟議を行い「地域の目指す子ども像」を策定し地域を巻き込んだ具体的な小中連携の活動について協議を行いました。このように、CSの活動と連携し、学校を中心として、地域



地域道徳



小中合同挨拶運動



制服リユース販売



ミストシャワー設置



熟議の様子

の方々、生徒と一体になって進めるPTA活動が大変盛んであり、それぞれの垣根を超えた取組を今後も充実させていきたいと考えています。

これからの活動

末武中学校PTAでは、今後の活動をより充実させるための一環として、PTA組織の改編を検討しています。これは、CS活動との連携のイメージを保護者の皆様によりわかり易くするために、これまで四つで構成していた専門部を、CSの部会と連動させ三つに再編することにしました。また、参加できる行事、活動について年度初めに全保護者に公募によるアンケートを実施し、一人役を目標にボランティアの精神でより多くの保護者の皆様に参加してもらえらる仕組みを作りたいと考えています。これらにより、CS活動のつながりを意識していただき、地域とつながるPTA活動を継続していきたいと考えています。

学校・家庭・地域が協働して 子どもを支えるPTA活動



下関市立玄洋中学校
前PTA会長 植田 和 公

令和5年度「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞させて頂きました。これまで長年活動された先輩方の実績と、地域の皆様のご支援・ご協力の賜物であると感謝を申し上げます。

学校紹介

本校は本州の最西端、平家滅亡の哀史を秘め、武蔵・小次郎ゆかりの厳流島をいだいた彦島の北部に位置しています。下関市街とはわずか10分の水門をへだてて、下関漁港と対峙し、関彦橋ならびに彦島大橋で結ばれ、歴史的文化財や自然景観にも恵まれています。

校区内には、本村小学校、西山小学校の2校があり



教育長へ受賞報告

児童数は少子化で減少傾向にありますが、3校合同での行事も多く、子どもたちの健全で豊かな成長を育むという思いを一つに手を取り合って活動に取り組んでいます。地域の方は本校の卒業生が多く、学校行事やPTA活動に、大変協力的です。

PTA活動と家庭教育支援チームの取組

PTAの組織は、執行部と五つの専門部の中心的役割を担う常任委員が中心となり運営しています。PTA会員全員が五つの専門部のいずれかに所属し「二人一役」を担い、積極的に活動に参加しています。また、令和3年度より地域全体で子どもの育ちを支えるため、家庭教育支援チーム「げんよう」を立ち上げ、本村小学校・西山小学校・玄洋中学校の3校PTAが主体となり、小学校と中学校の保護者の縦のつながりや、同一学校の保護者や近隣の学校の保護者との横のつながりをつくる家庭教育支援活動を展開しています。

(1) 子育てサロンの開催

中学校入学説明会や予備入学の空き時間を利用して、新入学児童・生徒の保護者が、先輩保護者や学校支援ボランティア(地域の子育て経験者)とつながりを持ち、気軽に子育ての相談ができる「子育てサロン」を開催しています。保護者同士にしかわからない情報もたくさんあり、入学前に準備する物や部活動のことなど具体的な話で盛り上がり、入学前の保護者の不安を解消する場となっています。



子育てサロンの様子

(2) 家庭教育支援研修会

毎年、家庭教育をテーマとした研修会を開催しています。昨年度より近隣の家庭教育支援チーム「ひこしま」と合同で研修会を開催することができ、小・中学校7校のPTA・学校運営協議会等、たくさんの方々が参加しています。今年度は市内の私立高校を会場とし「受験」をテーマに、さまざまな話を聞いたり、グループワークの中で情報交換をしたりと、保護者としての学びを深めることができました。



研修テーマ「受験」

(3) 生徒会&おやじの会のコラボ作業

玄洋校区おやじの会は、発足して9年目を迎えます。子どもたちや学校のために主に環境整備を行ってきましたが、昨年度より生徒会の依頼で、生徒と合同で作業を行うようになりました。今年度は、生徒たちがおやじの会のメンバーに教わりながら、学び舎に感謝の気持ちを込めて、階段手すりのペンキ塗り作業を行いました。コラボ作業を通して、生徒とおやじの会メンバー相互のかわりを深めることができている。



ペンキ塗り作業

おやじの会に卒業はなく、現在、子どもが成人している方も、OBとして活動に協力してくれています。我が子が卒業した私も、これからは地域の一員として微力ではありますが、学校やPTA活動を支えていきたいと思っています。

一人ひとりのよさを見つめて



柳井市立新庄小学校
教諭 米満 奈菜

私は、「互いのよさを認め合い、みんなで高め合える学級」をめざしています。

そのためにまずは担任である私自身が児童と関わる中でよさや頑張りを見つけ、積極的に伝えるようにしています。学級全体に紹介することもあれば、個別に話をしていの中でさりげなく伝えることもあります。

それ以外に児童が宿題で取り組んできた漢字ノートに「外国語の授業で勇気を出して発表ができたね」「朝のあいさつを〇〇先生がほめていたよ」「時計を見て行動していたね。みんなに『座ろう』と呼びかけてくれたありがとう」など、今日一日の子のよかった姿や頑張っていたことを一言書き添えて返却しています。慌ただしい日は、読みにくい文字になってしまうこともありませんが、「あなたのことを見ているよ。大切に思っているよ」の気持ちを毎日届けているつもりです。

次に、児童同士でも友達の頑張りやよい行動などに目を向け、自分も友達のように頑張ろうと思える児童を増やしていきたいと思っています。そこで、友達の良いところを出し合う機会を意図的につくっています。例えば、授業の終わりに「今日なる

ほどと思った友達の意見は？」「活動中に頑張っていた友達は？」などと問うことで、児童が友達のよい意見や頑張る姿に少しずつ目を向けられるようになります。帰りの会でも「今日一日学校やクラスのために頑張っていた友達」を発表するコーナーを設けて、みんなで毎日発表し合い、拍手を送り合っています。

新年度がスタートする4月。一人ひとりの児童が自分や他人のよさを目に向け、自分の力を最大限に発揮し、みんなで成長していける学級をめざして、今年も努力していきたいと思えます。



令和5年度 5年生の子どもたち

学級づくりの心得



山陽小野田市立赤崎小学校
教諭 楠本 頌

学級づくりにおいて、「児童が自分の成長を実感できる授業」、「当番活動や係活動、給食時間の動きなどの生活システム」が大切なのは言うまでもありません。それらに加えて、私は次の三つのことを意識して学級づくりをおこなっています。

個別の信頼関係を築く

新年度には、よく子どもたちに自己紹介カードを書かせることがあると思います。そのカードから子どもさまさまざまな情報入手し、会話のきっかけとしています。好きなスポーツや漫画など、その子に合った会話を早い段階で行います。子どもが「先生は私のことに興味をもってくれている」という実感があると、信頼関係が築きやすくと考えています。

教師が手本となる姿を示す

学校生活での子どもたちの姿は、教師の姿が大きく関わっていると考えています。温かい言葉が飛び交うクラスにしたいなら、教師自身が丁寧な言葉遣いで優しく語りかけます。時間をきちんと守れるクラスにしたいなら、教師自身が授業の始めと終わりの時間をきっちり守ります。言うだけ言って行動で示さないようでは、人は付いてきません。自分磨きも含め、手本となる姿を示すことを常に心がけています。

教えて褒める

学校生活全般において、高学年であっても、教師がやり方を見せたり、一緒にやったりするなど、温かく接しながら教えます。そして子どもができたらしつかりと褒めます。褒めて良い行動を強化することで、自ずと問題行動も減っていくと考えているからです。褒める時も、その子が昨日の自分より少しでも成長できたか、そこに焦点を当てて褒めるようにしています。同級生やある一定の水準と比べて褒めることはしません。以上のことをこれからも意識して取り組んでいき、子どもたちとともに成長していける教師でありたいと思えます。



児童が祝ってくれた誕生日

今年のクラスを 一番のクラスにするために



防府市立桑山中学校
教諭 友永 健斗

始業式。年度初めの生徒は、大きな期待とそれ以上に大きな不安や緊張感をもって学校に登校します。かくいう私も、何度過ごしてもこの時期の緊張感と高揚感に包まれます。お互いが新鮮な気持ちで挑むスタートだからこそ、最高の準備態勢で生徒を迎え入れたいものです。

私が始業式からの3日間で行うことは、大きく次の3点です。

①クラスで大切にしたいことの共有

明確な基準を示しておくことは、とても大切なことだと思います。「去年は〇〇じゃなかった」という声も聞こえることもあります。そんな生徒とのコミュニケーションこそ大切だと思っています。変化を成長のチャンスに変え、生徒との良好な関係づくりに繋げていきます。

②協力が必要なグループ活動の設定

4月は、生徒にとって新しい人間関係づくりが最も大切です。授業の中で「成功体験」が味わえる集団活動を行っています。そこで、活動中の生徒同士の関係や長所を観察し、フィードバックすることで、温かい雰囲気づくりに繋げたいという願いがあります。

③教室に飾る最初の個人掲示による自己表現

教室の中に「自分」を表現しているものが存在することが、居場所づくりの第一歩だと考えています。対



クラスでの授業の様子

話による表現が不得意な生徒も輝く場であり、お互いの新たな一面を知りつつかけとなります。心をこめて丁寧な字で、また全員が見えるようにペンで書くように声かけをします。

「現状維持」は退化の道。一緒に勤務した先輩のお言葉です。新たなクラスを任せられたときには、私は「前回この学年をもったときには、何をしていたかな」と過去のデータを振り返ります。数年前の懐かしい記憶を味わうことと、そのときを超える過去一番のクラスにするために何ができるか。それを考えてワクワクすることが、学級びらきに向けたこの時期の一番の楽しみです。

安心できる居場所づくり



宇部市立西岐波中学校
教諭 大田 菜摘

人は、自分の居場所が確保され、安全で安心できる環境の中で、初めて自分の力を発揮することが出来ます。一日の大半を過ごす学級が、生徒にとっての居心地の良い場所であることは、生徒が成長する環境をつくる上でも欠かせません。

だからこそ新学期のスタートには、まず、「安心・安全」な学級づくりを私自身が大切にしたいことを必ず伝えていきます。人を傷つける言葉や行動は絶対に許さないということはもちろんのこと、当番活動や掃除といった自分の役割を確実に行うこと、時間を守ることを、そのすべてが、安心できる環境づくりにつながるため、特にその意義をしっかりと伝えていきます。

また、この「安心」をつくるには、「人間関係」が大きな鍵を握っています。一つ目は、教員と生徒の人間関係づくりです。生徒をしっかりと見取り、その変化を敏感にキャッチして、その時々により添い、粘り強く指導し続けることで、信頼関係を構築していきます。特に、新学期には、クラスのために行動する生徒の姿を積極的に褒め、一人ひとりを見ているというメッセージを送ります。また、それぞれが伸びようとする前向きな



クラスの思い出を学級掲示に

雰囲気や学級全体に広げ、価値づけしていきます。

二つ目は、生徒同士の人間関係づくりです。学級活動や授業、朝の会・帰りの会を活用して、関わり合う活動を意図的に仕組んでいきます。新学期には、短時間でできるレクリエーション活動を定期的に行ったり、学級の課題をグループで話し合う時間を設けたりしています。

安心・安全な学級は、一朝一夕ではつくられません。これからも、生徒との時間を丁寧に過ごしながら、一人ひとりと向き合い続けたいと思っています。

山口県教育会館に新しい研修室が誕生しました みなさんで教育会館を利用してみませんか

第5研修室A



第5研修室B



一般財団法人山口県教育会では、令和6年3月に山口県教育会館1階の改修工事を行い、1階に第5研修室を設置しました。第5研修室はAとBに分かれており、研修室Aは60人がゆったりと研修を行うことができます。また、研修室Bを同時に借りることで熟議などのグループワークにもすぐに対応できます。研修室Bは直接外とつながる出入口もあり、大きい荷物の搬出入が容易にできます。ぜひご利用ください。お待ちしております。

ホールや研修室の紹介

ホール



会議室Ⅰ



教育会館では、ホールや研修室、会議室など、人数や目的にあわせて選ぶことができます。ホールは約500人収容で、ピアノや合唱の発表会、企業の研修会、地域のカラオケ大会など、幅広くご利用いただいています。また、ホール、研修室ではWi-Fiの利用も可能です。減免の仕組みもありますので、ご相談ください。

利用料金のご案内

施設	定員 (推奨)	面積 (㎡)	日	午前	午後	夜間	昼間	午後・夜間	全日	1時間当たりの冷暖房料
				9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時	
ホール	512	1149.7	平日 休日	16,170 19,400	23,100 27,720	28,870 28,870	33,490 40,190	46,200 46,200	55,440 55,400	3,780 ホール2,520 ホワイエ1,260
第1研修室 (5F)	150 (100)	186.2	平日 休日	8,770 10,520	11,310 13,570	午後 に 同 じ	16,400 19,670	午後 分 の 2 倍	昼 間 分 + 夜 間 分	1,260
第2研修室 (5F)	72 (48)	103.1	平日 休日	6,290 7,540	8,190 9,830		12,010 14,410			930
第3研修室 (5F)	30 (20)	65.3	平日 休日	4,380 5,250	5,650 6,780		8,190 9,830			620
第4研修室 (3F)	72 (48)	118.8	平日 休日	7,330 8,810	9,550 11,460		13,860 16,630			930
第5研修室A (1F)	90 (60)	164.9	平日 休日	8,020 9,620	10,440 12,530		15,130 18,160			1,120
第5研修室B (1F)	30	113.9	平日 休日	5,600 6,720	7,290 8,740		10,560 12,670			930
会議室Ⅰ (3F)	30 (20)	59.4	平日 休日	4,810 5,780	6,290 7,540		9,110 10,940			620
会議室Ⅱ (3F)	8 (6)	18.9	平日 休日	1,460 1,740	1,870 2,230		2,780 3,330			120
会議室Ⅱ-② (3F)	8 (6)	18.2	平日 休日	1,390 1,670	1,790 2,140		2,670 3,200			120
会議室Ⅲ (5F)	6 (4)	12.6	平日 休日	1,050 1,260	1,380 1,660		2,000 2,390			120

【お問い合わせ】 山口県教育会館 (管理室)
〒753-0072 山口市大手町2-18

TEL 083-922-5766

FAX 083-922-5766

Email kanri@kyoyoiku.or.jp



山口県教育会トップページ>教育会館

第2回授業力アップセミナー

- 1 趣 旨 よりよい学習指導の追究に強い思いをもつ小・中学校の青年教師が集い、授業実践及び授業構想を検討し合うことをとおして、教師としての力量を高める。
- 2 主 催 (一財) 山口県教育会
- 3 期 日 令和6年8月8日(木)・9日(金) 1泊2日
- 4 会 場 パルトピアやまぐち (山口市神田町1-80)
- 5 研究教科 小・中学校社会科
テーマ：よりよい社会を形成していく力を育てる社会科学習
－社会的な見方・考え方を働かせた深い学びを求めて－
- 6 参加者 小学校教諭6人程度 中学校教諭6人程度 計12人程度
- 7 参加経費 交通費、宿泊費等の必要経費はすべて主催者が負担する。
- 8 研修日程

時刻	研修内容 (8月8日)	会 場	時刻	研修内容 (8月9日)	会 場
10:00	開会行事	パルトピア	9:00	【小学校と中学校の2部会に分かれる】	パルトピア
10:30	【小・中混合の2グループに分かれる】 実践例の発表	やまぐち 中ホール		模擬授業の指導案作成	やまぐち
12:00	昼食・休憩		10:30	模擬授業・研究協議	中ホール
13:00	実践例の発表 (午前の続き)		12:00	昼食・休憩	
15:00	発表についての研究協議		13:00	模擬授業・研究協議 (午前の続き)	
16:15	指導助言		14:45	指導助言	
18:00	夕食・意見交換会		15:15	全体会・閉会行事	

- 9 参加申込 A4版用紙に、①氏名 ②性別 ③教職経験年数 ④所属学校名 ⑤応募の目的を記入して、(一財) 山口県教育会へFAX送信 (FAX083-922-5768) する。
* 応募用紙の様式は、(一財) 山口県教育会のホームページからダウンロード可能。
* 申込多数の場合は、主催者が「⑤応募の目的」を比較検討して決定する。
- 10 申込締切 令和6年6月6日(木)
- 11 問 合 先 (一財) 山口県教育会 山口市大手町2-18 (TEL) 083-922-0383 (FAX) 083-922-5768

品川 典之 様 (山口)
山下 恵美 様 (萩)
鶴永 幸彦 様 (山口)

終身会員の紹介

理事会において承認、決議いただいた内容や、協議いただいた事項については、2月22日(木)に開催した臨時評議員会や3月5日(火)に開催した支部長・事務局長会議において、説明し、ご理解をいただいたところですが、会員数が少しずつ減少している状況ではありますが、今後とも教育会の活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会員数について	
通常会員	6,291名
賛助会員	413名
終身会員	1,407名
名誉会員	22名
合 計	8,133名
(令和6年2月1日現在)	

(一財) 山口県教育会 第2回通常理事会
令和6年2月9日(金) 山口県教育会館
理事の皆様は、次の議案第1号から第4号を承認議案5号を決議していただきました。
第1号議案 一般財団法人山口県教育会会員規約の変更について
第2号議案 電子データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
第3号議案 山口県教育会館第五研修室A・B(新設)の料金設定について
第4号議案 令和6年度一般財団法人山口県教育会事業計画書(案)について〔活動方針・事業計画・収支予算書〕
第5号議案 令和5年度一般財団法人山口県教育会臨時評議員会の開催について
議事終了後、「職務の執行状況」や「会員確保」についての報告、「助成事業や補助事業の今後」や「会員数の状況」について協議を行いました。

地域の伝統文化を受け継ぎつなぐ

豊田の宝「ホタル」を通した

まちづくりへの貢献



下関市立西市小学校

校長 静間佳代

県西部に位置する下関市豊田町は、梨やホタルが有名な自然豊かな町です。その美しい自然を町の財産として、農業や観光業等、さまざまな地域団体が情報を発信し、豊田のまちづくりをしてもらっています。

その豊田町にある本校では、これらの豊かな地域資源（ひと・もの・こと）を活用し、さまざまな教育活動を充実させるとともに、児童のふるさと豊田を愛する心を育んでいます。中でも、年間を通してホタルにかかわる活動は年々深化充実してきており、地域とのつながりもより深まっています。

ホタル舟清掃

ホタル舟実行委員会のご指導のもと、高学年児童がホタル舟及び発着場の清掃を行っています。倉庫から約1年ぶりに現れたホタル舟を目の前にして、児童は少し興奮気味



ホタル舟清掃

でしたが、限られた時間の中で、友達と協力しながら、ホタル舟や発着場の清掃をしました。ホタルの光の舞を舟から鑑賞できるこのホタル舟の運航を、豊田町を訪れる多くの観光客が楽しみにしていることを児童はよく知っています。毎年ホタル舟運航の準備に携わることができ、児童は、達成感や充実感を味わっています。

豊田のホタル祭り 金管バンド出演

ホタル祭りは6月上旬に開催され、町外からも多くの観光客が訪れ大変盛り上がり、児童もこの祭りをとても楽しみにしています。

毎年、その祭りでのステージ発表に、高学年児童で構成される金管バンドが出演しています。コロナ禍で中止されていた時期もありましたが、



金管バンド演奏

復活し、練習を重ねてきた児童は堂々と演奏を披露することができました。本校の伝統として受け継がれている金管バンド演奏は、ホタル祭りに欠かせない存在となっております。また、ホタル祭りのステージは、発表の場の一つとして欠かせない機会となっております。

ホタルの観察、ホタル（幼虫）の飼育・放流

ホタルの観察や幼虫の飼育等、校内においてホタルに関する活動はいくつもあります。春にはホタル情報員による調査、秋にはホタルに関するさまざまな設



ホタルの幼虫放流

間に挑戦する「ほたるマスタージェット」があり、また、夏から秋にかけては、ホタル飼育サポーターと呼ばれる地域の方に教わりながら、ホタルの幼虫飼育に携わっています。餌となるカワニナを与えるだけでなく、飼育環境も考えながら研究しつつ育てています。その研究結果は、秋の「ホタルさよなら集会」で発表し、その後、全校児童で本校側を流れる山田川に幼虫を放流しています。1年のうち半年以上ホタルにかかわっているため、ホタルは児童にとって身近で当たり前の存在になっています。

おわりに

本校のさまざまな教育活動は、豊田の宝「ホタル」を通してまちづくりに貢献できているとともに、児童の学びや成長を大きく支えています。地域とのつながりもいつも、いつまでも大切に、ホタルのようにキラリと輝く人を育てることができるよう、今後も学校の役目もしっかり果たしていきたいと思っています。